



タイムズ

2010.6.1
平成22年 16号

発行：多可町教育委員会
〒679-1134 多可郡多可町中区茂利20
TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142
E-mail: kodomo@takacho.jp



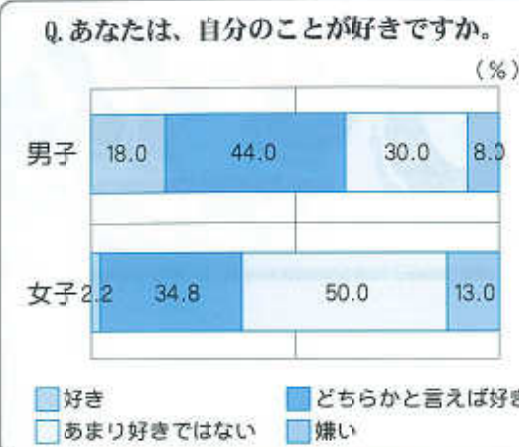
おもな内容

- ・教育委員会特集
「自尊心」と子ども
- ・ぴくあっぷ学校園
- ・子育て支援情報
児童館・学童保育紹介
- ・子ども向けイベント情報
- ・あっぱれ多可キッズ
- ・知っ得Takatown

自分のことが好きですか？

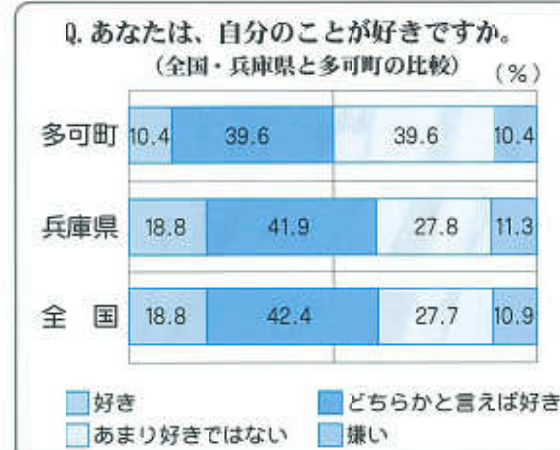
◎多可町っ子の様子

多可町における家庭教育推進施策の一環として、3月に町内の中学2年生（町内3校それぞれ1学級を抽出）を対象にアンケートを実施しました。その中で、「自分のことが好きですか？」という問いを設けたところ、男女別で次のような結果となりました。



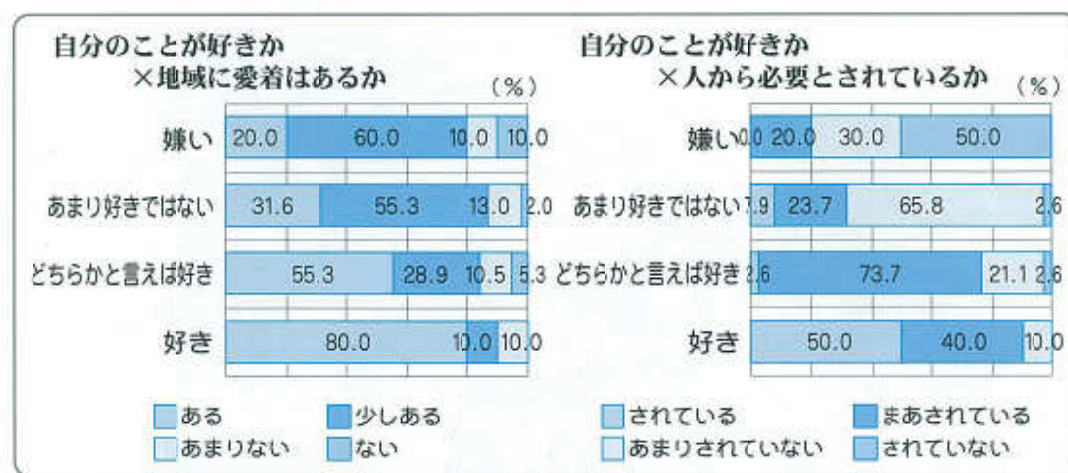
問いに対して、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた生徒の割合は男子で62%、女子で37%と、女子の自尊感情が目立って低くなっています。また、男女合わせた結果と、

昨年度実施の全国学力学習状況調査結果（中学3年生対象）との比較をしてみると、全国・兵庫県では6割を超える生徒が、自分を肯定的にとらえているのに対して、多可町では5割にとどまっており、多可町の中学生の自尊感情は、他と比較してもかなり低いことが見て取れます。

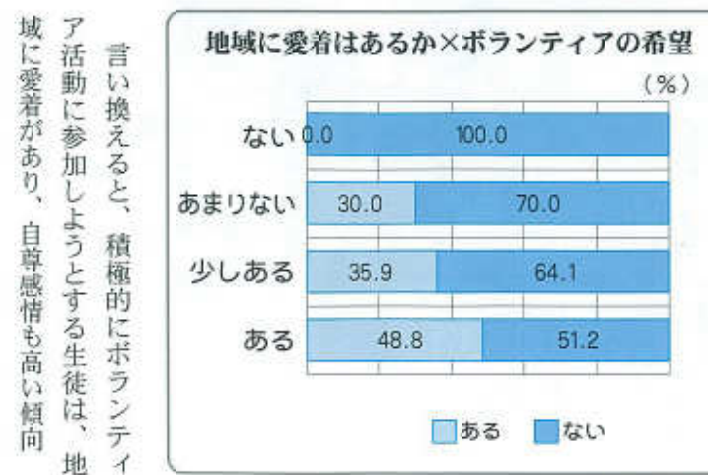


自尊感情は、今の自分に対して、良いところも悪いところもひっくり返して、前向きな気持ちでとらえられるような、自分を肯定的に受け止めることができる気持ちと言いうことができます。これ

が小学4年生では7割以上あり、男子よりも女子の方が高い傾向があるとされています。しかし、学年が進むにつれて大きく逆転し、中学2年生以降の女子では4割台となります。もう少し関連づけてみると、次のような結果が出ています。



自分のことを肯定的にとらえている生徒ほど、自分が周りの人から必要とされているという感覚を持っていたり、地域への愛着を感じている傾向が高くなっています。子どもたちは生活の中で、地域での体験や、人との出会いやふれあいを通して「感動」「感謝」「喜び」「発見」「命の尊さ」「人権意識」「将来像」など、生き方のヒントを心に根付かせているからではないかと思われる。



言い換えると、積極的にボランティア活動に参加しようとする生徒は、地域に愛着があり、自尊感情も高い傾向

があると言えます。多可町教育委員会では、昨年度より町内3中学校の生徒を対象に、中学生ボランティアサークルを立ち上げました。93名の登録生徒は、福祉や子育て関係の事業への参加を中心に、積極的な活動を繰り広げています。子どもたちがボランティア活動に参加することによる成果には次のようなものがあります。

- ・ 人とのつながりを大切にし、地域に貢献しようとする意欲がみられた
- ・ 体験から「生きた知識」が得られ、社会参加の貴重な機会となった
- ・ 活動への参加から自己有用感を得られた
- ・ 思いやりの気持ちや自然の大切さ、積極性を身につけることができた
- ・ 人との関係の結び方が会得できた



社教まつりボランティア

◎地域への愛着 育む多可町っ子

一般的に自尊感情は「包み込まれ感覚（自分への愛情や気持ちが理解される）」「社交性感覚（友人との心の通じ合いができていく）」「勤勉性感覚（自分はこつこつと努力できる人）」「自己受容感覚（自分が好き、自分の性格が好き）」の4つの柱で支えられているとされます。

また、自尊感情が高いと、さまざまな課題や困難に出会っても現実をしっかりと見つめ、主体的に解決方法を考へて意志決定し、その結果に責任を持った協調的かつ自立的な生き方ができるとも言われます。

○多可町っ子に求められる人間像

- ・ 生きることが楽しく活気にあふれ、むずかしい課題に出会っても前向きに取り組む行動力のある人
- ・ 自分で目標を立てることができ
- ・ 人との状況を自分の目で正しく認識し前進するために何が問題かを把握できる人
- ・ 人を大切にし、その気持ちを理解し、人と協調して助け合う意欲にあふれた人



青少年体験活動キャンプ

自分をどうでもよいと思っているような子が自分の意思を持ったり、学ぶ意欲を持ったり、人を助けるようなことができるはずがありません。教育や子育ての成功の条件は、「子どもの自尊感情をどう育むか」にかかっていると

言っても過言ではないと思います。子どもの自尊感情を高めていくためには、子どもの存在を親や周りの者が愛情を持って肯定することが大切です。自尊感情は家庭や学校で、また社会の中での人間関係を通してじっくりと醸成していくものです。家庭や学校だけでなく、地域ぐるみでの継続した取り組みが必要なのではないでしょうか。

学校生活支援教員を配置します

を配置します



本年度から、兵庫県では小学校に在籍する児童で、学習や生活面において教育的支援を必要としている児童に対して、安定した学校生活や集団行動が行えるように支援する制度が導入されました。

この事業では、拠点校である中町南小学校と松井小学校に、それぞれ一人ずつの学校生活支援教員を配置し、拠点校はもとより町内の小学校を巡回しながら学校間との連携を図るとともに、児童一人ひとりのニーズにあった支援を行い、子に応じた指導の徹底を図ります。



ぴっくあっぷ学校園



杉原谷幼稚園

中町幼稚園では毎月2回、園外保育を計画し、地域の自然や施設に出かけています。

①自然の中で遊び、四季の変化やその美しさに気づき、自然への親しみと理解を深める。

②地域に出かけ、見たり遊んだりする中で、自分たちが住んでいる町を知る。そして、ふるさとを愛する心を培っていく。

③様々な自然・社会事象にふれながら歩き、行き先を期待して、歩くことを楽しむ。また歩くことを通して体力増進につなげる。

以上の事柄を目標に掲げ、園外保育に取り組んでいます。

慣れない手つきですりこぎを動かしている顔は真剣そのものでした。そのヨモギを使い団子やホットケーキを作りました。きれいな緑色に喜び、出来上がると、とても大満足といった感じで口へ運んでいました。普段は食べることに意欲的でない子どもも、自分で作ったということでパクパク食べていました。次は、夏野菜作りです。種をまきました。芽が出るのが待遠しい毎日です。



幼稚園は 田んぼに囲まれて、とても のどかな所です。散歩

美味しそうな おいがしてきたよ



キッズランド



こどもの国

5歳児

キッズランドやちよでは、毎年5歳児がフロイデンやちよ(後田)のこいのぼりを歩いて見に行きます。

当日は、少し肌寒い日でしたが、水筒を肩にかけて、片道1時間の道のりを、途中、カニやヨモギを見つけたり、友達と一緒にしゃべりながら、頑張って歩きました。たくさんさんのこいのぼりや播州織りで作られたこいのぼりを見て、「大きいなあ」「いっぱいだなあ」と言いながら駆け寄りました。グループごとに、「ハイチーズ」(表紙)



播州織りのこいのぼりと一緒に写真を撮りました。行きはいろんな事に興味津々で、たくさん時間をかけ過ぎたのか、帰りは時間に余裕がなくなり、超特急で歩きました。

こいのぼりを見た子ども達は、早速、園で自分達のこいのぼりを製作しました。みんなの手形がうろこになっていきます。壁面にはいろいろな色のかぶとも飾りました。

中町幼稚園



「タンポポつなげたよ!」



今年度は園外保育の他に、毎週月曜日を散歩の日として、学級毎に幼稚園周辺へ出かけていきます。自分の虫かごを持って行き、幼稚園に戻って来たときには虫かごいっぱいにお土産が入っている子がたくさんいました。先日は、溝にいたカエルを見つけて、草むらに寝転んで必死に捕まえている子もいました。子ども達は、この散歩の日をとても楽しみにしています。

散歩中、出会った人にも自分から大きな声であいさつが出来た子になってほしいと、そんな願いを込めつつ、今日中町幼稚園の子ども達は元気に散歩に出かけます!



「なんかおで」「ほんまや」



「せーの!」「フー!」

松井幼稚園



園に着くとホッとした様子で、登園途中での小学生のお兄さん・お姉さんとのやりとりや、田んぼにいた虫や花の様子を話してくれたりします。季節の変化も肌で感じながら、登園しているようです。

帰りのバスでは、スヤスヤお昼寝タイムかな?

朝の登園を通して、様々なことを学び、心も体も強くたくましく成長している子ども達です。

みんな 元気いっぱい!!



加美区の幼稚園児は、小学生と一緒に歩いて登園してきます。遠方の園児は、朝7時過ぎになると家を出て、3キロを超える距離を歩いてきます。雨天の日も、全身びしょぬれになりながら歩いて登園しています。



ぴっくあっぷ学校園



松井小学校

5月6日、児童会主催の「1年生仲間入り集会」が開催されました。6年生は、1年生の手をひき、5年生が花のアーチを作って1年生を迎えました。入場後、全校生の前で自己紹介しました。きほ、とても緊張していた1年生も、校歌を教えてもらったり、「さんぽ」を一緒に歌ったりするうちに気持ちほぐれ、「ななかまあつめ」、「ジャンケン列車」、「ジャンケン大会」などのゲームに元気よく参加し、上級生と楽しく遊んでいました。これから、中町南小学校の一員として、楽しい学校生活を送ってくださることを願っています。



おはようみなさん さわやかね スクールソング
松井小学校の玄関を入って右の壁に大きな額が掲げてあります。松井小学校の校歌「スクールソング」です。この簡明で小学校らしい詞と軽快で覚えやすい曲はどのよううにして誕生したのか。創立百周年の記念誌から、スクールソング誕生にまつわるいきさつを紹介しています。



また、同記念誌には「松井の子」を「日本の子」「千ヶ峰」を「富士の山」として「仲良し童謡振付集」に採用され、日本各地で歌われた、とある。戦後、松井小学校を卒業された多くの方々にとって、スクールソングは心の故郷となっていることでしょう。

科2年の女子生徒を担任されていた。校歌作詞のことを考えておられた先生は、ある朝、教室に入ってきた子どもたちに向かって「皆さん、おはよう」と挨拶をかわされたとき、「これだ、一日が始まる朝の挨拶こそが、先生と子ども、また子ども同士の心を結びつけ、そこに願っているほんとうの明るさが生まれてくる」と思われたそうである。そして、藤田弥吉校長が視学官井沢文太郎先生に作曲を依頼され、曲ができあがった。こうして昭和21年11月8日、スクールソング誕生となる。



仲良し童謡振付集に採用されたスクールソング

杉原谷小学校

「わかる授業」を進めるために、ICTの活用とともに、「ハイサイズの授業」を行っています。特に本年度より1クラスになった3年生システム推進の先生が入り、指導を行っています。先生の数や時間割編成の問題など、いろいろと課題もありますが、知恵を出し合って工夫しながら取り組んでいます。



大画面TV授業で活用中!
平成21年度文部科学省の「学校ICT整備事業」の一環として52型のデジタル大画面テレビが一台入りしました。家庭ではもっぱら番組の視聴がテレビの役割ですが、本校ではまず4年生の教室に設置し、書画カメラとつないで教科書を拡大して映した



毎日情報発信中! 杉原谷小学校 検索 クリック
多可町立杉原谷小学校
本校のホームページは、児童会役員と学級委員で「あいさつ週間」を学期ごとに行い、あいさつをするように呼びかけます。

「わかる授業」を進めるために、ICTの活用とともに、「ハイサイズの授業」を行っています。特に本年度より1クラスになった3年生システム推進の先生が入り、指導を行っています。先生の数や時間割編成の問題など、いろいろと課題もありますが、知恵を出し合って工夫しながら取り組んでいます。



毎日情報発信中! 杉原谷小学校 検索 クリック

中町南小学校

5月6日、児童会主催の「1年生仲間入り集会」が開催されました。6年生は、1年生の手をひき、5年生が花のアーチを作って1年生を迎えました。入場後、全校生の前で自己紹介しました。きほ、とても緊張していた1年生も、校歌を教えてもらったり、「さんぽ」を一緒に歌ったりするうちに気持ちほぐれ、「ななかまあつめ」、「ジャンケン列車」、「ジャンケン大会」などのゲームに元気よく参加し、上級生と楽しく遊んでいました。これから、中町南小学校の一員として、楽しい学校生活を送ってくださることを願っています。



5月6日に1年生仲間入り集会がありました。その時、かわいい男の子の1年生と手をつなぎました。入場するときにつないだ手をふりました。1年生はとても喜んでいいるような気がしました。ほくたち6年生は、ジャンケン大会に参加しました。1年生と手をつなぎまん中まで連れて行ってジャンケンをさせてあげました。ほくと手をつないだ1年生は勝ちました。ほくたちの雪組チームも勝ちました。



帰るとき、おんぶをしてあげました。少し重かったけど、きちゃんと教室まで送ることができました。ほくは、6年生としての責任を果たすことができたと思います。

5月6日に1年生仲間入り集会がありました。その時、かわいい男の子の1年生と手をつなぎました。入場するときにつないだ手をふりました。1年生はとても喜んでいいるような気がしました。ほくたち6年生は、ジャンケン大会に参加しました。1年生と手をつなぎまん中まで連れて行ってジャンケンをさせてあげました。ほくと手をつないだ1年生は勝ちました。ほくたちの雪組チームも勝ちました。

中町北小学校

①きれいな中北小
掃除をみんなで協力して行い、隅々まできれいにしていきます。また、ゴミを捨てず、ゴミが落ちていたら拾います。



今年度、中町北小学校は児童数201名でスタートです。この1年間全校生をリードして、よりよい学校生活を送れるように色々な取り組みを考えてくれるのが児童会役員の、児童長1名、副児童長2名の計3名です。今年の2月に前年度の役員から引継ぎをして、活動を始めました。今年度のスロガンは「元気もりもりやる気100%」です。そして具体的には次のような学校づくりを進めています。



②あいさつができる中北小
全員、あいさつができるようにします。児童会役員と学級委員で「あいさつ週間」を学期ごとに行い、あいさつをするように呼びかけます。

③楽しい中北小
わんぱくタイムの時間を使って、ゲーム集会やスポーツ大会などみんなが楽しくて仲良くなれる活動を行います。仲間はずれがなく誰とでも遊べるようにします。

わんぱくタイムの進行をする児童会役員

さらに具体的に、どのように取り組むかについては、月ごとの児童会目標に明示し、学級ごとに毎日点検をして、できたかできなかったかを評価していきます。

「やればできる」の精神でしっかりと取り組みます。



びっくあっぷ学校園



八千代西小学校

本年度本校は、全校児童64名でスタートをきりました。少人数ではありますが、1年生から6年生までいつも仲良く過ごしています。毎週火曜日の休み時間に、「なかよし班遊び」をしたり、水曜日の朝には、「なかよしリレー」をお昼には、校長室で「ふれあい給食」をしたりして、年間を通じ、縦割り班活動をして、交流を深めています。こういった活動を通して、高学年は自分たちが計画を立て、低学年の面倒をしつかりと見ていくというリーダー性が培われていきます。また、低・中学年の児童は一生懸命に取り組んでいる高学年を見て、「しっかりとついていかないと・・・」「ぼくたちも大きくなったら、お兄ちゃんやお姉ちゃん達のようにできるかな・・・」など、高学年の姿をよく見えています。

～なかよしリレー～



みんななかよし



～ふれあい給食～

そして、6年生になった時には、学校のリーダーとしての自覚が備わっているため、班のリーダーとしてみんなをまとめていくことができるのです。八千西の児童は、学年を通り越えて、みんながなかよく協力し、『自分たちの輝く学校』を築きあげていこうとがんばっています。



生徒総会

中町中学校生徒会の更なる活性化をめざして、新生徒会役員29名と全教職員が一緒になって、一日間のリーダー研修会を開催しました。このリーダー研修会は、リーダーとしての自覚とそれのための力を身につけるために、今年度初めての試みとして行われました。協議はKJ法を使い、「リーダーとして必要とされることは？」「中町中学校の課題と解決方法は？」「生徒会スローガンを考えよう」の3本が話し合われました。その他にラジオ体操を中心に集団行動訓練、レクリエーション・歌とメニュも豊富に行われました。今年度、中町中学校は活発な生徒会活動を展開しようと思っています。

みんなでみんなを！

生徒会活動に力を入れていきます



リーダー研修会

僕たちは、中町中をもっと良くしたいという思いを形にするために、以前よりも学級・生徒会活動を活発に取り組んでいこうと思います。生徒会各部も今までにないコンクールを計画するなど、意気込みが感じられます。また、今年度のスローガンは「HERO（新風への挑戦）」です。中町中学校全員が協力し、自分たちの個性を発揮する上で、みんながヒーローになり輝けたらいいなという思いが込められています。がんばる中町中学校を応援してください。

生徒会長 岡 航平

八千代南小学校

笑顔ひろがり みんなで伸びる

新1年生を迎えました



かわいい1年生の入場です。

八千代南小学校は、今年22人のかわいい新1年生を迎えました。1年生を歓迎する会として、例年、児童会が、「1年生を迎える会」を開催し、ゲームや1年生の紹介などで交流しています。

本校の今年度の学校目標は、「笑顔ひろがり みんなで伸びる」「学び合い・かわり合い」です。夢がふくらむ学校です。短い時間でしたが、1年生の子ども達は大くさんかわり合い、楽しいひとときを過ごすことができました。学校生活への夢がまた大きくふくらんだことでしょう。上級生にとっても、とてもよい学びとなりました。



「ありがとう。大切にしよう。」



6年生におかれ、退場です。笑顔がひろがりました。

ちょっぴり緊張
ぎみでしたが、しっかりと自己紹介できました。

ようこそ八千代北へ 1年生歓迎会



これから、ささゆり班で、班遊び、田植え、稲刈り、運動会、掃除などのいろいろな活動で、ますます絆を深めていきます。

6年生児童の作文から

1年生に楽しいと思ってもらえるような歓迎会を考えました。1年生の子の手をつないで入場し、白クマのジェンカやじゃんけんゲームをいっしょにしました。1年生の子が楽しんでいたの、とてもうれしかったです。



4月16日、本校体育館において、1年生歓迎会を行いました。児童会役員を中心に、6年生全員が企画運営し、八北つ子みんなで16名のかわいい仲間を迎える集会を開きました。大きな子に手をひかれながら入場した1年生のうきうきした顔。1年生の紹介に始まり、楽しいゲーム大会、ささゆり班（縦割り班）で食事会と、心温まるすてきな時間を過ごすことができました。



八千代北小学校



ぴっくあっぷ学校園



多可高等学校

兵庫県立多可高等学校

多可郡多可町中區東山553 TEL 0795-32-3214

「福祉のこころ」を育み、自らを磨き、地域社会に貢献することを通じて自己実現を図ろうとする生徒を育てます。



☆多可高とぴっくす☆

人命救助で表彰

本校3年生の河島一真君と森位浩樹君が5月6日に消防民間協力功労者表彰を受賞しました。川に転落した女性を救助し、すぐに119番に通報、救急隊員が駆けつけるまで負傷した女性の救護にあたった功績によるものです。



藤井照通 中分署長による表彰

ホームヘルパー2級講習始まる

4月からホームヘルパー2級の資格取得講習を始めました。(株)新緑の協力を得て、8月まで、本校の授業や土曜日の講習を利用して行います。福祉ボランティア類型2年生が対象で、一般の方も4名受講されています。



講習の様子(4月21日 図書館)

共同的な学びの実践

多可高校では、授業を楽しく充実したものにするために、コの字型に机を配置し、グループ学習を取り入れた授業を展開しています。先生も生徒もともに学び合う共同的な学びを目指して取り組んでいます。



英語の授業(4月28日 2年生)



車いすバスケットボールの授業

新入生歓迎遠足

4月15日、生徒会の自主企画による歓迎遠足を実施しました。時雨を伴う寒い一日でしたが、ユーモアあふれる先生紹介、クラスの和を競う大声コンテスト、学年を越えてのゲームなど、生徒会の入念な計画で、心温まる時間を過ごすことができました。

加美中学校の生徒たちは、地域の皆さんに支えられながら健やかに成長しています。その根底には、脈々と受け継がれてきた校訓に込められた熱い思いがあるように思います。生徒たちは、この伝統ある加美中学校の校訓を具現化するために、生徒会の自主的な活動による学校づくりを進めています。

自主 自主独立 自分の考えをしつかり持つこと
創造 創造発展 たくましく生活を切りひらこう
友愛 友愛 お互いの人格を大切にしよう
校訓

生徒総会

4月30日、今年の生徒会の活動を決める生徒総会が開かれました。本部の提案に対する質問や意見が相次ぎ、質問者の列ができるほどでした。



先生紹介もゲームも、とても楽しかったです。3年生の生徒会に人たちは、てきぱきと進行をして、すごいなと思いました。(生徒感想)



加美中学校

「自主・創造・友愛」の学校づくり

北はりま特別支援学校

兵庫県立北はりま特別支援学校

〒679-1112 兵庫県多可郡多可町中區間子602-1
TEL (0795) 32-3672, FAX (0795) 32-3367
http://www.hyogo-c.ed.jp/~kitaharima-sn/

校訓

明るく
仲良く
生き生きと

学校概要

昭和54年4月兵庫県立水上養護学校中町分校として開校して以来、31年目を迎えることとなりました。平成4年には兵庫県立北はりま養護学校となり新たに高等部が設置され、平成19年には兵庫県立北はりま特別支援学校として校名を変更し、現在はのびく、きずな訪問学校を含め119名の児童生徒が在籍しています。

トピックス

<入学式>



4月9日本校、13日にはのびく訪問学校・きずな訪問学校でそれぞれ入学式が行われました。今年度は39名の児童生徒が入学し、新たな学校生活をスタートさせました。日一日と学校になじみ行動範囲が広がっていくことでしょう。

<春の歓迎会>



小学部は学校内で新入生・転入生の歓迎会を行いました。中学部は余暇村公園へスクールバスで出かけました。上の写真は中学部の光景ですが、一年生もすぐにうちとけてゲームを楽しみました。

<音楽療法>



外部講師の先生をお招きして音楽療法も取り入れています。音楽を通して楽しいやりとりで思わず笑顔もほころびます。音楽療法士の先生以外に、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、介護福祉士etcの先生方にお世話になっています。

こいのぼりゆれる中庭

4月、5月には毎朝、児童生徒達と一緒にあげました。休み時間の中庭は、キャッチボールをしたり、追いかけてこをしたりする子どもたちでいっぱいでした。



平成22年度のおもな行事(6月~3月)

- 6月 高等部現場体験実習(※) プール水泳(~7月)
- 9月 運動会(25日)
- 10月 薩摩芋掘り交流(6日) 学習発表会(30日)
- 2月 マラソン大会(2日)

地域でお世話になります

※高等部現場体験実習(6月7日~18日)
「自立をめざし、働く体験を通して社会生活へ参加しようとする力を高める」を目標に、地域の事業所や作業所で就労体験をします。お世話になりますが、よろしくお願いします。また、受け入れ希望がありましたらご連絡ください。

八千代中学校

はりきっています！生徒会

八千代中学校は生徒会活動が活発です。学校生活のさまざまなところで生徒会が活躍し、よりよい八千代中学校を目指して取り組んでいます。4月30日に、平成22年度の生徒総会が行われました。校長先生の話や生徒会長の挨拶の後、議長団を選出し議事に入りました。昨年度の事業報告や会計報告、本年度の予算案や事業計画が承認されました。続いて、本部をはじめ、各専門部からの本年度の取り組みや行事予定が発表されました。どの部もしっかりとした計画を立て取り組もうとしています。その中で生徒会本部が「よりよい八千代中学校を目指して」として次のような提案をしました。



- ・学年、男女関係なく、みんな仲良く生活する
- ・校則をもっとしつかり守っていく
- ・校訓「全校一心明るく強く美しく」を常に頭において生活する
- ・あいさつをもっと増やす
- ・仲のよいことはとても良いことが上下関係のこともしつかり意識して生活する
- ・けんか、いじめなど、人のいやがることは絶対にしない
- ・毎日積極的に行動する
- ・一人一人がみんなの事を考えて行動する

この後、活発な質疑が行われ時間を延長するほどでした。クラス目標などの紹介が行われ、校歌を斉唱して終わりました。



中児童館

中児童館は学童保育と併設でない分、地域の多くの方に幅広く活用していただいています。放課後や長期休暇は、近所の小学生、中学生、幼稚園児、保育園児が来ます。児童館にあるおもちゃでレストラン、ごっこをしたり、将棋をしたり、学校の宿題をしたり、とてもにぎやかです。午前中は乳幼児をつれたおかあさん（もしくはおばあさん、おじいさん）が来られます。子育てふれあいセンターの活動場所としても機能しています。また、貸し館で、会合や勉強会、お稽古ごとにも利用していただいています。

こんにちは！
中児童館です！

「かあさんへもしくはおばあさん、おじいさん」



書道教室



工作教室



ずこう教室

他にみなみ児童館と合同で子ども教室・わくわく体験教室・おもしろ理科教室など。



児童館に来てよかった、楽しかったという感動と達成感を遊びや事業を通して伝え、児童の健やかな成長に貢献するよう努めています。

みなみ児童館



みなみ児童館

多可町加美区的場68-1

開館時間8:30~17:30

みなみ児童館は加美区の的場にあり、松井小学校の隣、松井幼稚園の前に位置しています。

館内には、自由に利用できる「遊戯室」と「図書室」があります。午前中は乳幼児連れの仲良しグループでの利用や、自主サークルの活動の場としても利用されています。放課後は、小学生が来館し、ドミノ倒しを作って遊んだり、職員とUNOやカルテットというカードを使ったゲームをしたりと、自由に楽しんでいます。また、みなみ児童館は学童保育「松井っ子クラブ」を併設しており、クラブの子ども達と遊びたくて来館する児童も多くいます。

ドミノたおし、完成〜！



児童館では、「伝統文化を継承する」「町内各区の特色を生かす」「生活経験を豊かにする」ことを目標に、中児童館と一緒に様々な事業を企画しています。学校や家庭でなかなか体験できないことを提供できるように考えています。

町内の学童保育施設を
紹介します

利用時間は、幼稚園・学校終了時から午後7時までです。指導員の管理の下、自由に活動をしています。

中区、八千代区の預かり保育は、中町幼稚園、キッズランドやちよで行っています。



クラブ内の様子

預かり保育・学童保育ってなあに？



仕事などの事情により、保護者が昼間家庭にいない幼稚園・小学校3年生までの児童を、放課後や夏休みなどの長期休暇の期間中、保護者に代わって行う保育を行うことです。

松井っ子クラブ
(みなみ児童館)杉っ子クラブ
(杉っ子会館)中町北小にこにこクラブ
(育友会館)中町南小にこにこクラブ
(PTA会館)

八千代わんぱくクラブ



申し込みは
どうしたら
いいの？



教育委員会こども未来課にご連絡ください。必要書類をお渡しします。夏休みなど長期休暇のみの利用も可能です。

こども未来課 TEL: 32-2385

6月

日付	曜	内 容	会 場	対 象	参加費	お問合せ・申込先	分 類
6月2日	水	救急救命教室	きた公民館	幼児の保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
5日	土	北播磨地区子育てフェスティバル 「はりこ工房紙屋」に教わるはりこ教室(その1) 勾玉づくり	アスバル	2歳以上の子どもと保護者	無料	こども未来課	イベント
6日	日	森の工作〜森の生き物を作ろう!〜 くみひもぞうりづくり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 小学5年生以上	100円(料)300円 150~200円 350円 350円	那珂ふれあい館	体験
10日	木	救急救命教室	キッズランドやちよ	幼児の保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
11日	金	おでかけ広場	熊野部公民館	どなたでも	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
12日	土	「はりこ工房紙屋」に教わるはりこ教室(その2) 七宝焼き教室 子連協野外活動リーダー研修会(〜13日)	那珂ふれあい館	6/5の参加者 幼稚園児以上 小学4〜6年	100円(料)別途 1000円	那珂ふれあい館	体験 イベント
13日	日	ハーブ染め体験 デコ勾玉づくり 東山古墳群めぐり 父の日企画	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	100円(料)500円〜 350円 無料	那珂ふれあい館	体験 学習 イベント
18日	金	救急救命教室	中児童館	幼児の保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
19日	土	かんたん楽しい!手芸教室 ちぎり絵教室	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	100円(料)580円 100円(料)500円〜	那珂ふれあい館	体験
22日	火	あいあい広場	キッズランドやちよ	未就学児と家族	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
25日	金	おでかけ広場	森本公民館	どなたでも	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
26日	土	勾玉づくり エコ紙すき体験 新・森の遊び場づくり⑥	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	150~200円 150円 無料	那珂ふれあい館	体験
27日	日	カラフル勾玉づくり おもしろ歴史セミナー(第1回目) 竹のパイプ笛「タケリナ」づくり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 小学生以上	200円 100円 500円	那珂ふれあい館	体験 学習 体験
28日	月	みんなの日	アスバル	どなたでも	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て

7月

日付	曜	内 容	会 場	対 象	参加費	お問合せ・申込先	分 類
7月3日	土	陶芸体験〜キャンドルカバーをつくろう①〜 うどんづくり④「うどん打ち体験」	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	350円(2回分) 500円	那珂ふれあい館	体験
4日	日	七夕草もちづくり&七夕飾り ラベンダーフェスタ2010 夏のキノコ観察会	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 どなたでも	300円 無料 300円	那珂ふれあい館 ラベンダーパーク多可 なか・やちよの森公園	体験 イベント 学習
10日	土	陶芸体験〜風鈴をつくろう①〜 陶芸体験〜風鈴をつくろう②〜 ちぎり絵教室〜夏の花を和紙で描こう〜 お米ができるまで③「ヒエヒキとかかれづくり」	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 ①の参加者 幼稚園児以上	350円(3回分) 100円(料)500円〜 300円	那珂ふれあい館	体験
11日	日	子連協将棋大会 勾玉づくり 東山古墳群めぐり 森を育てよう②「翠明湖の桜の下草刈り」	交流会館	小〜中学生	無料	こども未来課	イベント
13日	火	あいあい広場	松井幼稚園	未就学児と家族	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
16日	金	学習会「発達について」	未定	未就学児の保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
17日	土	かんたん楽しい!手芸教室 親子で発掘体験 七宝焼き教室 昆虫観察会	那珂ふれあい館	小学生以下は保護者同伴 幼稚園児以上	100円(料)500円 150円 100円(料)別途 無料	那珂ふれあい館	体験
18日	日	米粉パンづくり 夏野菜をつくろう②「タチオーブンでピザづくり」	八千代公民館	どなたでも	200円 500円	なか・やちよの森公園	体験
19日	月・祝	竹の食器づくりとそうめん流し	湖畔の広場	どなたでも	500円	なか・やちよの森公園	体験
22日	木	デコ勾玉づくり(夏休み特別企画)	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	350円	那珂ふれあい館	体験
24日	土	陶芸体験〜キャンドルカバーをつくろう②〜 くみひもぞうりづくり 1泊2日!山や川で生き物探し	那珂ふれあい館	①の参加者 小学5年生以上	350円	那珂ふれあい館	体験
25日	日	子連協球技大会 かえっこバザール ドライハーブでポプリづくり 陶芸体験〜風鈴をつくろう③〜	中央グラウンド他 八千代公民館	中学生 どなたでも	無料	こども未来課 中・みなみ児童館	スポーツ 交流
28日	水	国際教育交流(米園ミドルタウン来町)〜8/3(火)〜	多可町内			こども未来課	交流
31日	土	冒険ひろば〜ひんやり体験〜 カラフル勾玉づくり 夜の虫調査隊(夏休み宿題シリーズ) トライやる企画「中学生が考えたプログラム」 新・森の遊び場づくり⑦	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 小学生以下は保護者同伴	300円 200円 100円 未定 無料	こども未来課 那珂ふれあい館	体験 学習 体験

8月

日付	曜	内 容	会 場	対 象	参加費	お問合せ・申込先	分 類
8月1日	日	かんたん楽しい!手芸教室 くみひもぞうりづくり	那珂ふれあい館	小学生以下は保護者同伴 小学5年生以上	100円(料)500円 350円	那珂ふれあい館	体験
7日	土	勾玉づくり 親子で発掘体験 新・森の遊び場づくり⑧	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	150~200円 150円 無料	那珂ふれあい館	体験
8日	日	青少年のための科学の祭典 アマゴのつかみ取りと森の宝探し	湖畔の広場	どなたでも	無料	なか・やちよの森公園	体験
12日	木	勾玉づくり(夏休み特別企画)午前部 勾玉づくり(夏休み特別企画)午後部	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	150~200円	那珂ふれあい館	体験
14日	土	カラフル勾玉づくり ロープワーク講習会	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	150~200円 200円	那珂ふれあい館	体験
15日	日	多可町ふるさと夏のまつり 森の工作教室開校!!	加美運動公園	どなたでも 小学生	無料 100~300円	生涯学習課	イベント 学習
18日	水	コロコロ貯まる!からくり貯金箱	溪流の広場	小学生	500円	なか・やちよの森公園	学習
19日	木	勾玉づくり(夏休み特別企画)午前部 勾玉づくり(夏休み特別企画)午後部 森の時計屋さん(時計づくり)	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 小学生	150~200円 700円	那珂ふれあい館	体験 学習
20日	金	国際教育交流(中国華僑中学来町)〜8/24(火)〜 ヒノキやコナラの貯金箱づくり 巣箱の貯金箱づくり	多可町内	小学生	500円	こども未来課	交流 学習
21日	土	エコ紙すき体験〜夏の思い出アルバムづくり①〜 ちぎり絵教室 蕎麦づくり①「種まきとお菓子づくり」	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	350円 100円(料)500円〜 300円	那珂ふれあい館	体験
22日	日	不思議な人形 芝刈り君 勾玉づくり	湖畔の広場	どなたでも 幼稚園児以上	100円(料)300円 150~200円	那珂ふれあい館	体験
28日	土	デコ勾玉づくり 七宝焼き教室 森の手入れとアイスクリームづくり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 登録者	350円 100円(料)別途	那珂ふれあい館	体験

9月

日付	曜	内 容	会 場	対 象	参加費	お問合せ・申込先	分 類
9月4日	土	かんたん楽しい!手芸教室 陶芸体験〜ガーデニング①〜 四季の草木染め〜藍染め編〜	那珂ふれあい館	小学生以下は保護者同伴 幼稚園児以上	100円(料)400円 350円 500円	那珂ふれあい館	体験
5日	日	カラフル勾玉づくり 陶芸体験〜お皿づくり①〜 木工機械講習会と実習「ガーデンチェアづくり」	湖畔の広場	幼稚園児以上 中学生以上	200円 350円 3000円	那珂ふれあい館	体験 学習
11日	土	勾玉づくり ちぎり絵教室 観月の夕べ	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	150~200円 100円(料)500円〜 無料	那珂ふれあい館	体験
12日	日	おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展表彰式 デコ勾玉づくり 東山古墳群めぐり 木工機械講習会と実習「ガーデンチェアづくり②」	八千代公民館 ガルテン八千代体育館	どなたでも	350円 100円 9/5の参加者	八千代公民館 こども未来課	イベント 体験 学習
18日	土	どんぐりっ子の森あそび〜ピザづくりとクラフト〜 くみひもぞうりづくり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 小学5年生以上	100円(料)500円 350円	那珂ふれあい館	体験
19日	日	お月見コンサートとお茶席	湖畔の広場	どなたでも	無料	なか・やちよの森公園	イベント
23日	木・祝	森のあかりツールで灯づくり〜 陶芸体験〜ガーデニング②〜 生葉の藍染め体験	湖畔の広場	中学生以上 ①の参加者 幼稚園児以上	1500円 100円(料)500円〜	なか・やちよの森公園	体験
25日	土	観月会 果拾いと栗ごはんづくり 陶芸体験〜お皿づくり②〜 七宝焼き教室	加美体育館	どなたでも	無料	加美コミュニティプラザ	イベント
26日	日	天体観測 サツマイモをつくろう②「イモ掘りとお菓子づくり」	湖畔の広場	どなたでも	300円 200円 500円	なか・やちよの森公園	体験

ご注意

- 掲載しているイベントについては、日程・内容等が変更になる場合がありますのでご注意ください。
- 実施時間等の詳細には、各施設・イベントごとに配布されるチラシ等をご覧ください。
- お申し込みは、各イベントの申し込み受付開始後に可能となります。
- ※那珂ふれあい館の7月からのイベントは、6月17日以降に受け付けが開始されます。
- ※なか・やちよの森公園のイベントは、実施日の前日1日から受け付けが開始されます。

(お問合せ・申込み先電話番号) こども未来課 32-2385 多可町子育てふれあいセンター 37-2525 中児童館 32-2284
みなみ児童館 35-1420 那珂ふれあい館 32-0685 生涯学習課 32-5122 八千代公民館 37-0596
加美コミュニティプラザ 35-0080 ラベンダーパーク多可 36-1616 県立なか・やちよの森公園 30-0050

あっぱれ多可キッズ！

「あっぱれ多可キッズ！」では、学校園での活動や、地域活動、スポーツ等に頑張っている子どもたちをピックアップして特集します。



土曜日の日が傾く頃、加美コミュニティプラザ周辺には、和太鼓の力強い音色が響き渡っています。今回は、加美区の女子小学生を中心としたメンバーが活動している「千ヶ峰太鼓」を訪ねてみました。

「千ヶ峰太鼓」は女子小学生を対象とした社会教育の一環として、平成元年に発足し、今年で22年目を迎えます。現在は、小学2年生から6年生までの16人のメンバーが、互いに教え合い、協力しながら仲良く活動しています。舞台出演は年間5〜6回、町内外のイベント等で勇壮な和太鼓の響きを披露しています。

活動の中心となるのが7名の6年生。練習中には、曲ごとに変わる太鼓の配置換えも率先して行うなど、最上級生としての自覚が伺えます。この6年生メンバーに聞いてみました。

Q1 千ヶ峰太鼓に入ってきたきっかけは？
「テレビでみて、おもしろそうだと思



向井夏海さん (松井小6年)
大西未紗さん (松井小6年)
梨木彩光さん (松井小6年)
足立味空さん (松井小6年)
大久保優香さん (松井小6年)

Q3 これからの目標は？
「上手くなってお客さんに喜んでもらいたい」「いろんな舞台に立って、お客さんにいっぱいみてもらう」「家族やお客さんに上手と言ってもらいたい」「もっと練習して、響の人のように上手になりたい」など、さらに向上したいと口をそろえていました。

目標に向かって努力する「千ヶ峰太鼓」の子どもたち。質問に対する受け答えもしっかりとした気持ちのよいものでした。今後の活躍に注目です。

知っ得TakaTown

「知っ得TakaTown」では、多可町の子どもたちに対しての、地域の耳寄り情報や、おもしろスポットを紹介しています。



ラベンダー

心も体もリフレッシュ！

今回は、加美区森の「ラベンダーパーク多可」の紹介です。

「ラベンダーパーク多可」は、2008年6月にオープンした西日本最大級のラベンダー園です。広い園内には、地元の方々が一とつひとつ大切に育てられたラベンダーが植えられ、その花は、これから1年でも一番きれいな季節を迎えます。

ここで働いておられるNPO法人北播磨ラベンダー理事長の、藤原博喜さんからのメッセージです。



イングリッシュ系



ラバンティン系

むらさきの風香る丘
「ラベンダーパーク多可」へ！
国道427号線を北へ走ると、丹波加美線に出会います。この地は昔より大河丘陵と呼ばれており、この丘にラベンダー公園があります。現在20,000本のラベンダーが植えられており、6月から花のシーズンを迎えます。

この丘は、戦中戦後の食糧増産のための開墾地と農作業用牛の放牧地でありました。その後、時代の流れとともに茶畑になり杉櫓の森になつておりましたがラベンダー公園になり、多可町民の宝となりました。

ラベンダーをはじめとするハーブは癒しの効果があります。勉強や運動で疲れた時は、ぜひラベンダー公園へ来てリフレッシュしてください。お待ちしております。

ラベンダーパーク多可では、いろんな体験活動やイベントのほか、スイーツやハーブティー、地元のグルメなども楽しめるそうです。みんなでレッツゴー！

むらさきの風香る丘

ラベンダーパーク多可

〒679-1324 多可郡多可町加美区森799-127
TEL:0795-36-1616 FAX:0795-36-1617
ホームページ: <http://www.lavender-park.jp>

※ご意見・ご感想をお寄せ下さい

【問い合わせ先】多可町教育委員会こども未来課 TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142 E-mail:kodomo@takacho.jp